

(単元) 『山月記』

(本時のねらい)

就職や進学など4月から始まる新生活を控え、多くの不安や期待などを抱える高校3年生という時期の生徒が、『山月記』に描かれる李徴が抱える葛藤や弱さに触れることで、ものの見方を深め、より良い生き方を自分なりに考察する機会としたいと考え、本単元を設定した。

(ICT活用方法)

本授業では『山月記』の続きを想像し、登場人物一人一人に焦点を当てた物語を作成させた。その中でも独創性が優れていたり、李徴の抱える葛藤をより鮮やかに表現したりする作品を例として用い、生徒に提示した。パワーポイントを利用し、生徒が作成したものを提示し、その続きやストーリーのオチについて想像させたうえで生徒間で話し合わせた。また、授業の最後には李徴は自分の弱さをさらけ出せる友人や場所がなかったから虎になってしまった、という意見が多く出た。そこで、より良い生き方についての考察を深めるために、「国語表現」の授業で作成した『自分の居場所』という資料をパワーポイントに数枚のせ提示した。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	・『山月記』のあらすじを振り返る。	・登場人物一人一人の人柄を確認させる。	・「『山月記』あらすじ」という動画を見せる。	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・創作した『続山月記』を電子黒板で見る。 ・テーマ別に紹介した各作品のオチを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ○李徴のその後 ○李徴の家族 ○李徴の最期 ・李徴が虎になってしまった原因について再考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような点が評価できるか教師の意見を伝えながら紹介する。 ・どのような表現をすれば作品の世界がより鮮やかになるか、オリジナル以上のオチを考えるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを活用し、優れた生徒作品を紹介する。 ・作品を途中まで提示し、オチの部分は生徒の話し合いの後にアニメーションなどで見せる。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・国語表現の授業で作成した『自分の居場所』という作品を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間誰もが持つ弱さや葛藤について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで数名の生徒作品を紹介する。
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『臆病な自尊心と尊大な羞恥心』の本質について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物と自分たちとを比較し、共通する生き方や考え方に気づかせる。 	

(授業の様子)

【授業風景】



【パワーポイント資料①『続山月記』】

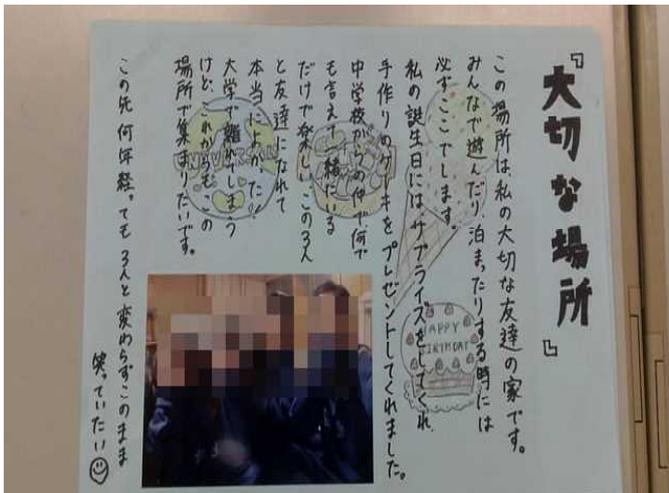
それから十数年がたった。エンサンの机の上には1つの詩集がある。その詩集はリチヨウの最後の頼み事、夢を叶えた詩集だった。エンサンはリチヨウと離れた後、すぐに病にかかってしまったが、リチヨウが生きていたことを知ることを残すため病室で詩を書き続けた。詩集にするまでに時間がかかったが、かなえることができた。エンサンの病は悪化したが悔いはないと真つ暗な病室のベッドの上で、目をひきとった。空にはきれいな月が浮かんでいた。どこからか虎の咆哮が聞こえた。エンサンに虎を伝えているように感じた。翌朝、部屋に入ってきた下吏によって詩集は発見され世に残った。

ドラマチックなストーリーに伏すエンサンと虎としての生き生きとしたリチヨウ。二人と三日月の間で、多くは言葉を交わしている。聞くと、リチヨウは、なかなかに生きていて、でも、強くなりたい、なかなかに生きていて、でも、

ああ山月記って大好き！今の君たちと同じじゃん！

の作品

【パワーポイント資料②～国語表現にて作成した『自分の居場所』】



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

自分たちが創作した作品が紹介されることで、意欲・関心を高めたうえで授業に取り組むことができていた。李徴が抱える葛藤について、自分たちが現在抱えている不安や期待、弱さを重ね合わせることもできていた。ICTを活用する中で、ストーリーの続きを想像するという活動においてはパワーポイントなど有効活用できたが、教師が一方向的に伝える形になってしまった。生徒が電子黒板を活用しながら自分たちの考えを深めることができるような活用方法が今後の課題であり、模索していきたい。